

平成22年6月21日

各国公立大学長
各公立短期大学長
各国公立高等専門学校長
各専修学校
各各種学校長
殿

宮崎県知事 東国原 英夫
宮崎県教育委員会委員長 近藤 好子

「口蹄疫」発生に伴う本県出身学生への支援について（依頼）

日ごろから我が国の将来を担う人材の育成に御尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、宮崎県においては、4月下旬に家畜伝染病「口蹄疫」が発生し、全力で解消に努めているところですが、その後感染が続き、畜産農家はもとより、様々な分野へ深刻な経済的影響が出始めており、本県出身の学生の中には、経済的理由により修学困難となる学生が出ることも予想されます。

このため、本県としましても宮崎県育英資金緊急採用制度の活用を図るなど、対応に努めているところでありますが、地域経済の疲弊化によって、今後、学生への影響がさらに大きくなるのではないかと懸念しております。

つきましては、何とぞこのような本県の状況を御理解いただき、「口蹄疫」の発生により、家計が急変した世帯（※）の学生に対しまして、授業料減免など修学支援の措置を講じていただきますとともに、その措置について学生に十分周知いただきますよう特段の御配慮をお願いいたします。

※ 例えば、

- 1 生計維持者が畜産農家であり、飼育する家畜が口蹄疫に罹患し防疫措置のために殺処分され、収入が絶たれた世帯
- 2 生計維持者が、口蹄疫発生地域内の畜産農家であり、飼育する家畜の搬出や移動の制限を受け、出荷できない状態となり、収入のめどが立たない世帯
- 3 生計維持者が、口蹄疫の影響を受け経営状態が著しく悪化した畜産関連産業等の経営者又は従事者であり、破産・倒産又は収入が激減した世帯
- 4 その他、口蹄疫発生の影響を受け、収入が激減した世帯

（文書取扱 学校政策課）

問い合わせ先	
担当	学校政策課
電話	0985-26-7033
担当	文化文教・国際課
電話	0985-26-7118
担当	総合政策課
電話	0985-26-7032

口蹄疫の状況等について

H22.6.23
宮崎県東京事務所

- 1 口蹄疫は、牛・豚・水牛等の偶蹄類の動物の病気であり、人に感染することはありません。
また、感染動物の肉が市場に出回ることはありませんが、感染動物の肉を摂取しても人体には影響ありません。

2 これまでの発生状況 (平成22年6月22日 午後10時現在)

(1) 総数

発生例(農場)数	291例
疑似患畜等数	199,293頭
牛	37,102頭
豚	162,174頭
山羊	17頭

(2) 疑似患畜の市町内訳

(単位：例、頭数)

	発生例数	牛	豚	羊	計
都農町	32	1,856	5,457	1	7,314
川南町	195	10,116	135,129	8	145,253
えびの市	4	350	320		670
高鍋町	25	13,861	10,277		24,138
新富町	17	4,140	4,598		8,738
木城町	5	884	5,068		5,952
西都市	8	5,014	—	8	5,022
都城市	1	236			236
日向市	1	364			364
宮崎市	2	38	1,325		1,363
国富町	1	243			243
計	291	37,102	162,174	17	199,293

3 現在の状況

- 5市6町まで感染が拡大したが、6月18日宮崎市において牛での感染が確認された以降は、新たな感染は発生していない。
- えびの市は6月4日午前0時をもって移動制限が解除された。(消毒については当分継続)
- 都城市、日向市では発生農場から3km圏域内の全ての農場で家畜の血液検査を、3～10km地域で目視検査を、それぞれ22日から開始。
- 疑似患畜の処分は、20日で川南町が終了し、高鍋町及び西都市の合計約4,500頭弱が残るのみ。
これらの殺処分が終了後、21日間新たな発生が無ければ、宮崎県全域で移動制限は解除となる見込み。
- 県では全車両対象消毒ポイント24ヶ所、消毒噴霧設置ポイント100ヶ所、流下消毒粉設置場所49ヶ所、全車両対応消毒マット設置ポイント134ヶ所、合計307ヶ所で消毒を継続している(6/20現在 えびの市自注分含む)。
- 発生農家では、殺処分に伴う経済的損失や精神的負担が大きく、さらに今後経営を再開する見通しも立たないなど、非常に厳しい状況におかれている。
また、家畜の移動制限やせり市の中止はもとより、観光面等でも宿泊キャンセル等が多数出たり、各種イベントが中止となるなど、畜産農家はもとより、宮崎県の地域経済全体に大変深刻な影響が出ている。
- このような中、「宮崎県口蹄疫被害義援金」や「ふるさと宮崎応援寄付金」等といった支援が寄せられ、総額で約15億円の金額が集まっている。(6/17現在。6月に1次配分として被害農家1戸当たり20万円を支払い。)

口蹄疫の発生状況について

平成22年6月18日

